



特集

人とまちを支えるコミュニティバス

新運行での
主な変更点

(1) 運賃

乗車距離に応じた料金体系に変わるとともに、乗り放題ではなくなり、乗車回数ごとに運賃がかかります。

■ 定時定路線

1乗車あたり

2km未満 100円

2km以上 200円

■ デマンドバス

1回乗車 200円

200円
(1日乗り放題)

(2) 運行時間

コミュニティバスは、通院や買い物などの日常生活での使用を主な目的としています。そのためこれらの施設が閉じ、バスの利用がほとんどない時間帯を短縮します。

午前7時台～午後8時台 → 午前7時台～午後7時台

(3) 割引サービスなど

定期券などの割引サービスについては、以下の通りです。ルートや停留所が変更となっている路線がありますので、定期券を購入する際にはご注意ください。

定期券割引 ▶▶▶ **継続**
現運行の定期券代を据え置き、1ヵ月4,000円、3ヵ月11,400円

回数券割引 ▶▶▶ **内容変更し、継続**
100円券を11枚つづりで1,000円で販売

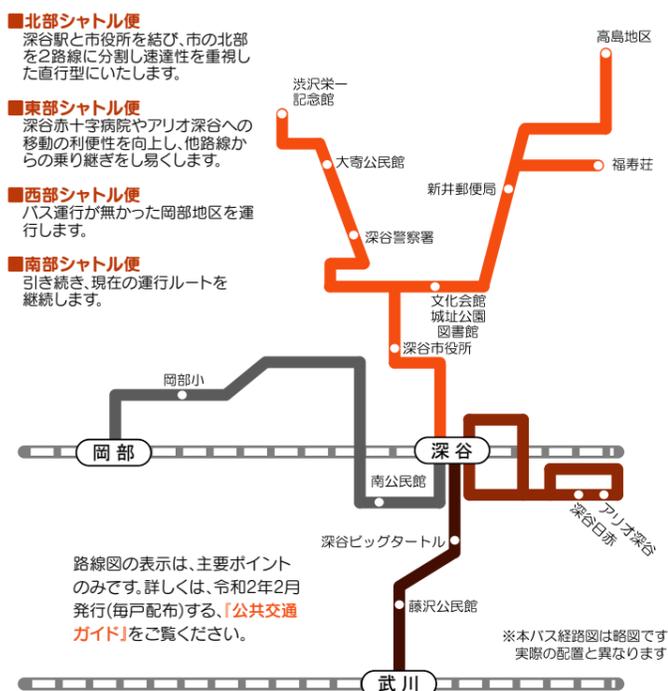
障害者割引 ▶▶▶ **継続**
障害者割引・運転免許証自主返納割引は従来通り50%割引。ただし、『障害者割引証』の交付は終了し、障害者手帳（原本）の提示により割引します。

民間バス・鉄道との乗継割引 ▶▶▶ **終了**
公共交通への定着が図られたため、本サービスは終了します。

運行ルートの変更
南部シャトル便を除く定時定路線が循環方式から『シャトル方式』に変わります（下図参照）。1運行にかかる時間を短縮し、乗り継ぎや利用ニーズが高い場所に停車するようにルートを変更しました。定時定路線が停車しない地域はこれまで通り事前予約型の『デマンドバス』を利用できます。

運賃・運行時間が変わります
『受益者負担の原則』や公平性・事業性の観点から、定額乗り放題サービスを改め、乗車距離に応じた料金体系に変更します。また、効率的な運行とするため、乗客がいない状態が生じることの多い時間帯を見直し、時間を短縮して運行します。
その他割引サービスなどの変更については左記の通りですが、詳しくは、令和2年2月に每户配布する『公共交通ガイド』をご覧ください。

新運行・定時定路線バスのルート(概要)



令和2年4月から新運行に切り替わります
人とまちを支える
コミュニティバス



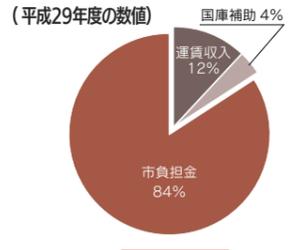
市民の皆さんが安心して快適に生活できるように、商業施設や医療機関など身近で生活に必要な施設への移動手段として運行している深谷市コミュニティバス『くるリン』。しかし近年では、人口減少、少子高齢化が進行し、公共交通網を維持・確保することが年々困難になっています。

そこで、市では公共交通を今後も維持していくために『深谷市地域公共交通会議』を設け住民代表・利用者代表・その他有識者の意見を参考に、必要な運行再編の検討を行いました。令和2年4月から新運行が始まります。今月の特集では新運行開始に先立ち、主な変更点をお知らせします。

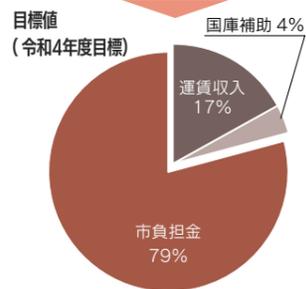
『くるリン』の負担割合

～現状値と目標値～
『くるリン』の運営は市負担金・運賃収入・国庫補助からなり、大半を市負担金で賄っています。新運行では、ルートや運賃を変更することで、収支率を毎年1%ずつ改善し、他市と同程度の水準に高め、安定した運営を目指します。

現状値 (平成29年度の数値)



目標値 (令和4年度目標)



『公共交通網』を守るため
再編にあたっては、鉄道・民間路線バス・タクシーといった他の公共交通機関との役割分担と連携を図りながら再編を進めました。

公共交通機関は私たちにとって必要な交通手段です。今は公共交通機関を必要としない人でも、将来、車を運転しなくなったとき、また、家族が通勤・通学するとき必要になることがあります。今回は、そうした『将来のため』に必要な交通体系を見据えた再編を実施しました。

新たな運行へ
今、公共交通を取り巻く状況が人口減少や家用自動車普及などに伴い、厳しさを増しています。コミュニティバス『くるリン』も同様で、その維持が次第に困難となってきました。そこで市では『くるリン』を含む公共交通ネットワークを将来にわたり維持するため、令和2年4月から運行再編を行います。



コミュニティバス『くるリン』

人事行政の運営状況

※詳しい内容は、市ホームページ、または市役所本庁舎市政情報コーナーでご覧ください。

職員の任用、給与や勤務状況など、人事行政の運営状況(概要)をお知らせします。

問い合わせ 人事課 ☎574 - 6636

職員の任用および職員数に関する状況

職員級別 (平成31年4月1日現在)

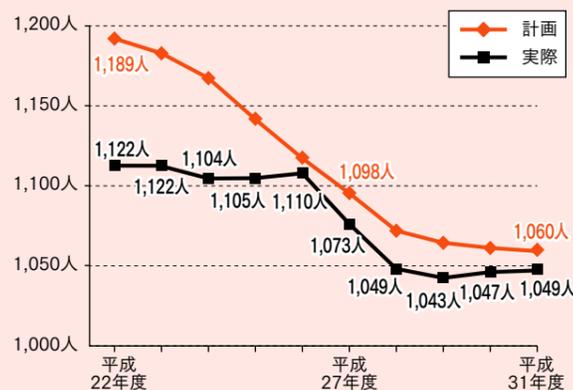
区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級
標準的な職務内容	主事補・技師補	主事・技師	主任	係長・主査	課長補佐	課長・主幹	次長	部長
職員数	46人	180人	275人	308人	119人	57人	26人	17人
構成比	4.4%	17.2%	26.2%	29.4%	11.3%	5.4%	2.5%	1.6%

技能労務職

区分	1級	2級	合計
標準的な職務内容	業務員・給食調理員		
職員数	5人	16人	1,049人
構成比	0.5%	1.5%	100.0%

※深谷市の給与と条例に基づく給料表の級区分による職員数です。※標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職名です。

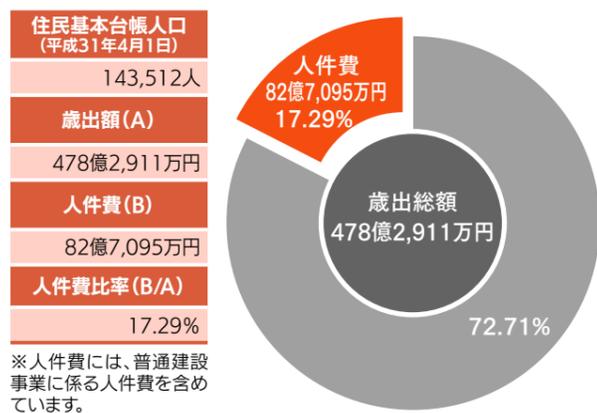
過去10年間の職員数の推移



※職員数は、大里広域市町村圏組合などへの派遣職員、再任用短時間勤務職員、臨時職員および非常勤職員を除いています。

歳出総額に占める人件費の割合

人件費 (平成30年度普通会計決算)



職員給与の状況 (平成30年度普通会計決算)

職員給与費 (平成30年度普通会計決算)

職員数	給与費		合計
	給料	職員手当 (うち期末・勤勉手当)	
989人	36億2,243万円	24億1,151万円 (15億3,465万円)	60億3,394万円

※職員手当には退職手当を含みません。※1万円未満を切り捨てているため、合計と合わない場合があります。

職員の平均給料月額と平均年齢 (平成31年4月1日現在)

区分	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	323,902円	41.8歳

職員の初任給 (平成31年4月1日現在)

区分	大学卒	短大卒	高校卒
一般行政職	187,200円	167,200円	153,000円

職員の学歴・経験年数別平均給料月額 (平成31年4月1日現在)

区分	経験年数		
	10~15年未満	20~25年未満	
一般行政職	大学卒	267,602円	361,336円
	短大卒	246,500円	332,184円
	高校卒	221,700円	320,633円

期末・勤勉手当の支給割合 (平成31年4月1日現在)

区分	6月期	12月期	合計
期末手当	1.3月分	1.3月分	2.6月分
勤勉手当	0.925月分	0.925月分	1.85月分

退職手当 (平成31年4月1日現在)

勤続年数	20年	30年	35年	最高限度額
自己都合	19.6695月分	34.7355月分	39.7575月分	47.709月分
勸奨・定年	24.586875月分	40.80375月分	47.709月分	47.709月分

※退職手当は、埼玉県市町村総合事務組合の市町村職員退職手当条例により支給されます。

特別職の報酬など (平成31年4月1日現在)

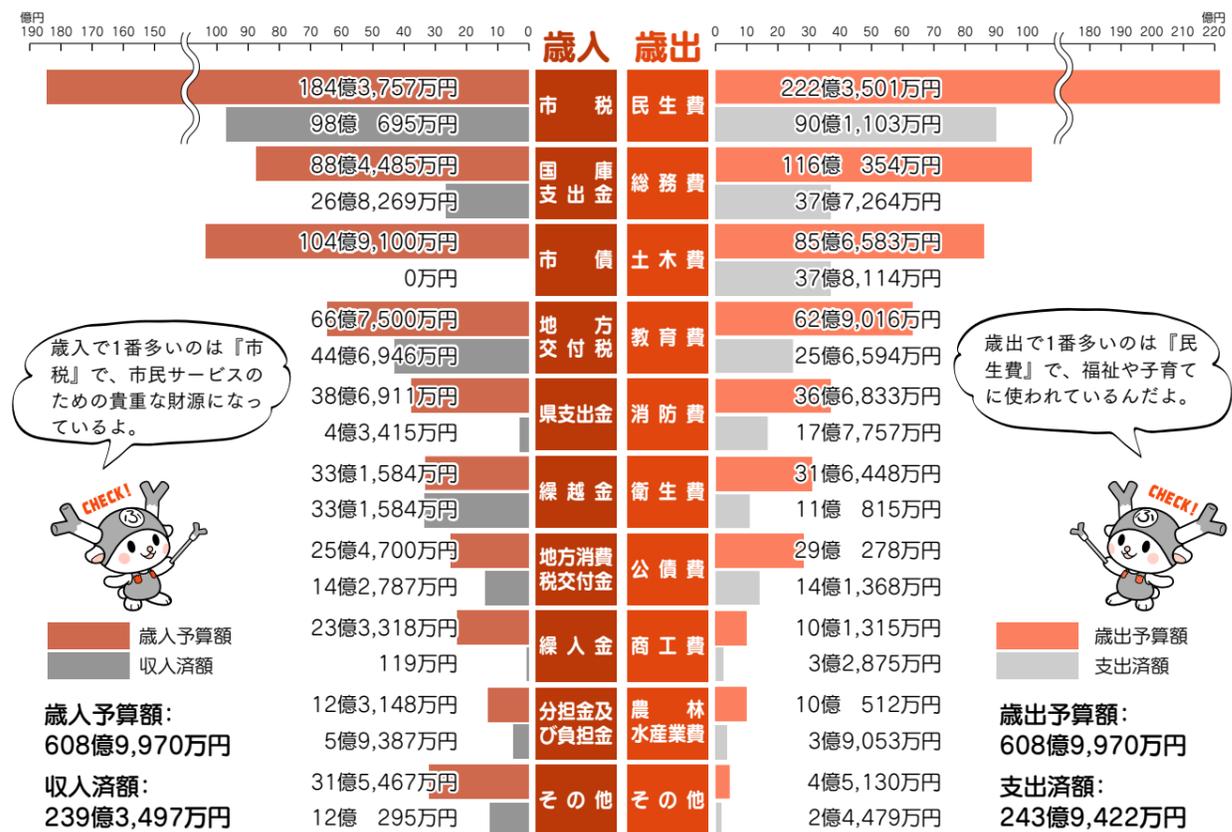
区分	報酬・給料	期末手当
市議会議長	報酬 月額 492,000円	
市議会副議長	報酬 月額 428,000円	6月期2.225月分 12月期2.225月分 合計4.450月分
市議会常任委員長及び議会運営委員長	報酬 月額 418,000円	
市議会議員	報酬 月額 403,000円	
市長	給料 月額 910,000円	6月期2.225月分
副市長	給料 月額 755,000円	12月期2.225月分
教育長	給料 月額 683,000円	合計4.450月分

令和元年度上半期 財政状況

皆さんが納めた税金や国から交付される地方交付税、国庫支出金などが1年でどのくらい入り、また、どんな事業にどのくらい使われたかという『財政状況』を毎年2回に分けてお知らせしています。

今回は、令和元年9月30日現在の財政状況をお知らせします。問い合わせ 財政課 ☎574 - 6632

一般会計



※表示金額未満を四捨五入しているため、合計と合わない場合があります。※金額はすべて税込です。

特別会計

区分	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険	152億4,605万円	67億7,541万円	72億5,826万円
後期高齢者医療	27億5,679万円	15億1,905万円	9億4,991万円
国済寺土地画整理事業	7億4,673万円	3億4,080万円	1億4,952万円
岡中央土地画整理事業	1億2,778万円	5,955万円	2,391万円
ふかや花園駅前土地画整理事業	8億6,374万円	8億6,374万円	6,228万円

企業会計

区分		予算額	
		収入済額	支出済額
水道事業	収入	31億3,017万円	11億2,773万円
	支出	28億8,686万円	5億3,519万円
資本的収支	収入	12億7,012万円	0円
	支出	28億4,848万円	5億4,530万円
下水道事業	収入	35億1,204万円	15億593万円
	支出	33億6,734万円	4億8,326万円
資本的収支	収入	35億9,113万円	3億4,883万円
	支出	47億7,023万円	11億6,807万円